

日経認知症シンポジウム

パネルディスカッション1
「認知症共生社会の実現に向けて」

2019年10月28日
株式会社らいふ
取締役 小林 司

株式会社らいふ 会社概要

事業所所在地	東京都品川区
事業内容	(1) 有料老人ホーム 運営 (特定施設入居者生活介護)48ヶ所 (2) サービス付き高齢者向け住宅 4ヶ所 (2) 居宅訪問介護事業 9ヶ所 (3) 指定居宅介護支援事業 8ヶ所 ご入居者数 2,383名 (内、約7割が 認知症)
従業員数	1,958名(平成30年10月現在)
設立	1995年11月9日
資本金	1億円
グループ売上高	120億円(2018年11月期)

株式会社らいふの社会使命事業

1

生きる力を引き出す介護®

と生きる力の介護®

2

地域高齢者が高齢者を支える

社会作り

3

高齢介護弱者の救済

1 生きる力を引き出す介護[®]と生きる力の介護[®]

3

新生活サービス

ご入居者様一人ひとりの思いやご希望にお応えし、生きる意欲を引き出します



有名店でのランチ

当社だからできる、
自費サービス。
好奇心が生きる力を
引き出します。



皇居へお出かけ



日帰り温泉ツアー



季節のお食事



銀座で買い物

1 生きる力を引き出す介護[®]と生きる力の介護[®]

4

らいふ・ケア・コンシェル[®]

ご入居者様へ介護保険サービスでは難しいプライベートサービスの提供



【エピソード紹介】

「親族の結婚式へ行きたい」とのご要望を頂き、結婚式までご同行。



2 地域高齢者が高齢者を支える社会作り

5

地域住民に徹底的に周知

「どんな施設か」「運営面での特色は何か」「どんな職種を募集しているのか」を浸透

「地域交流イベント」の目的

- 地域の目が入ることで自分では気づけない点に気づける。
- 地域の人が施設に入ること、ご入居者の刺激になる。
- 施設のことを知ってもらうことで、口コミ効果が見込める。
- 入居促進の効果もあり、人材獲得と両輪で推進。

「地域交流」の発信エリア



2 地域高齢者が高齢者を支える社会作り

6

らいふの地域交流活動

地域の高齢者が「いきいき」と「安心」して生活できる社会・地域作り

地域に開かれた場

・施設に外部の目が入るよう地域の方が入りやすい施設づくり。



地域の和太鼓団体の演奏

地域のふれあいの場

・地域の方々のコミュニケーションの場を提供。



地域の老人クラブによるフラダンス披露

世代を超えた交流の場

・年齢を関係なく地域の方が交流し、介護に高齢者に触れる場。



近隣の高校の吹奏楽部がイベント参加

2 地域高齢者が高齢者を支える社会作り

パワフルスタッフ(年齢:55才~85才)

- ・いきいきとやりがいをもって働きたい高齢者をパワフルスタッフとして雇用。
- ・ご入居者様のお話相手や趣味・特技を活かしたレクリエーション企画など、若い職員には出来ない仕事。

(時給 1,020~1,500円 2019年10月現在)

現在、**420名**のパワフルスタッフが活躍



佐々木 豊さん(仮名)

プロフィール:

- ・年齢:75歳
- ・経歴:自動車製造の会社に定年まで勤務
- ・趣味:ガーデニング
- ・入社のきっかけ:退職後、家にいてもすることがなく、自分の力を役立てられる場所を求めていたところ、近所の施設でパワフルスタッフの募集を知り応募。

3 共生への取り組み① 認知症への取り組み

(参考)ご入居者数2383名(内 約7割が認知症)、平均年齢87.6才、平均介護度2.38
ご入居者一人当たりの毎食前食後の服薬剤数:平均7.2剤



認知症プロジェクト:

- ・認知症の方への理解を深めるべく発足。
- ・現場と本社から選出された職員により構成され、定期的に開催。

○「安全な薬剤選択」「多剤併用の回避」「服薬頻度の低減」を大方針として
ご入居者の薬とケアの最適化を目指す。

○取組みを継続することにより、介護サービスのより一層の品質向上を実現し、
ご入居者の安心・安全な生活を提供し、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)の
維持・向上を目指す。

3 共生への取り組み①認知症への取り組み

9

○ホームページにて「**認知症のご入居者と共に生活する手引き**」を公開（ダウンロード可）

○目的

- ・職員のみならず、**ご家族様、地域住民の皆様、同業他社**も含めて**認知症への理解を深めること。**
- ・認知症になったご本人様が、**認知症とともに、より良く過ごしていくこと。**
- ・**ご家族様の心身の負担が軽減されること。**

< 目次 >

第1章 施設における取り組み事例とヒント

第2章 中核症状と周辺症状

第3章 日頃の備え

第4章 当社の取り組み

第5章 認知症の治療～薬物療法と非薬物療法～

第6章 参考資料

認知症のご入居者と共に
生活する手引き

2018年6月

株式会社らいふ

認知症のご入居者と共に生活するPTプロジェクト

3 共生への取り組み① 認知症への取り組み

○各施設でご家族や地域の方を集め、定期的に勉強会を開催



4 共生への取り組み② 医薬品適正使用の取り組み

株式会社らいふ 認知症予防・改善プロジェクト

薬を減らして 認知症を防ぐ

～高齢者医薬品適正使用ガイドラインの取り組み～

認知症の症状には、大きく**中枢症状**・**周辺症状**があります。中枢症状に対しては“前認知症”と呼ばれる薬による自覚が一般的です。

周辺症状 睡眠障害や徘徊があります。

薬の飲み過ぎ…? こんなにたくさん飲む必要があるのかしら…?

中枢症状: 記憶障害、判断力低下、行動異常、徘徊、失禁、体重減少、食欲不振、脱水、低血糖、低カルシウム血症、低ナトリウム血症、低ビタミンB12血症、低ビタミンD血症、低鉄血症、低カルシウム血症、低マグネシウム血症、低亜鉛血症、低銅血症、低セレン血症、低マンガン血症、低コバルト血症、低ヨウ素血症、低セレン血症、低マンガン血症、低コバルト血症、低ヨウ素血症

周辺症状: 興奮、抑うつ、不安、徘徊、せん妄、睡眠障害、食欲不振、体重減少、脱水、低血糖、低カルシウム血症、低ナトリウム血症、低ビタミンB12血症、低ビタミンD血症、低鉄血症、低カルシウム血症、低マグネシウム血症、低亜鉛血症、低銅血症、低セレン血症、低マンガン血症、低コバルト血症、低ヨウ素血症

そこで…

目標!! コスト(支払い)・ミニマム(最小)・パフォーマンス(効果)・マキシマム(最大化)

調べる 現在の服薬状況を把握し、見直すべき服薬を調べます。

取り組む 減薬を実施し、介護職による前想法等の“非薬物療法”を取り組みます。

お母さん、元気？

元気よ

会いに来るといつも嬉しかったけど、最近では元気そうだね

周辺症状が改善!!

○薬とケアの最適化に向けた

認知症ご入居者への減薬取り組み開始

～東京大学等と共同で認知症入居者に対する減薬効果の実証プロジェクトチームを発足～

厚生労働省「高齢者の医薬品適正使用のガイドライン」に則り、指定医療機関との連携により、医薬品の適正な使用に関し全社を挙げて取り組み中。

